

せいれい
聖隸よこはま

115号
2017.1

病院理念

私たちは、隣人愛の精神のもと、
安全で良質な医療を提供し、地域に貢献し続けます

<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>

ご自由にお持ちください



今号のテーマ：木に見守られながら 春の芽が育ちます

年頭所感

新年のご挨拶

診療科紹介

耳鼻咽喉科

体験リポート！

健康診断

最新トピックス

ほっと情報・インフォメーション

特集

病院ボランティアさんのご紹介

建築NEWS！

立体駐車場工事・健診フース増築

年頭所感

社会福祉法人 聖隸福祉事業団 聖隸横浜病院 院長 林 泰広

謹賀新年

皆さま明けまして
おめでとうございます。



平成29年

元旦

明けましておめでとうござ
います。皆さまそれぞれに良
い年をお迎えのこととお慶び
申し上げます。昨年は皆さま
方には多方面にわたり温かな
ご支援をいただきまして、本
当にありがとうございました。
職員一同を代表いたしま
して心よりお礼申し上げま
す。

おかげさまで昨年は、外来
棟新築工事の着工、新診療科
の増設、循環バスの運行開始
など、聖隸横浜病院にとりま
して大きく飛躍する年となり
ました。

その中でも、利用してくださ
る方々にとりまして一番大
きく変わったと感じられるの
が病院敷地内の風景だと思
います。2018年（平成30年）

秋の完成をめざしまして、新
建築に先立ちまして駐車場の
建設工事が進んでいます。こ
の工事に伴い市営バス側の入
り口が一時的に閉鎖されまし
て、利用者の皆さま方に大
変にご不便をおかけしております
が、新駐車場は本年の4月
に完成し、市営バス側の入り
口も再開する予定です。新外
来棟は、患者の皆さま方に
とつて優しい設計で、最新の
診療機能を提供できるよう
に計画されています。完成後は

地域との連携部門の活動を強
化することの4項目を病院の
運営方針に定めて、様々な対
策を実行しております。

救急診療体制につきまして
はできるだけ円滑に患者さん
の受け入れができるような体
制整備をめざしました。ご高
齢の方に多い狭心症や心筋梗
塞などの循環器疾患、大腿骨
折などの整形外科疾患、脳卒

の精神のもと、安全で良質な
医療を提供し、地域に貢献し
続けます」という病院理念の
達成をめざしております。そ
のために一昨年来、①救急診
療の体制を強化すること、②
高齢者向けの医療提供を充実
すること、③将来を見据えて
診療体制を再編すること、④
地域との連携部門の活動を強
化することの4項目を病院の
運営方針に定めて、様々な対
策を実行しております。

また、当院では、「隣人愛

中などの脳神経外科疾患につきましても受け入れが円滑に進むように体制を見直しました。救急受診の患者数は徐々に増えています。救急車の受け入れ数は年間約4000台になろうとしています。また、従来よりの診療科の編成に加えまして、一昨年に心臓血管センター内科の新設で心臓疾患への対応を強化したのに引き続き、昨年はリウマチ・膠原病センター、総合診療科、ドック健診科を新設し診療の幅をさらに広げて、患者の皆さま方の利便性を図りました。そのうち脳神経外科・脳血管センター（脳血管内治療科）につきましては今までの体制を一新してスタッフと設備を整備しました。



ます。

地域との連携では、まず利用してくださる皆さまの利便性を図りまして、昨年4月横浜市交通局と共同で、保土ヶ谷駅東口から当院、さらに藤棚、水道道を循環する「聖隸横浜病院循環バス」の運行を開始しました。今のところ昼過ぎまでの運行ですが、おかげさまで利用者の方々からはご好評を得ています。今後もさまざまご意見を取り入れましてより使いやすいものにしていきたいと思っています。

時代とともに医療の提供スタイルも多様化し病院の役割も変化してきています。高齢社会を迎え、医療はひとつの中でも地域全体の医療機関が連携していくことが大切だと強く呼ばれるようになります。聖隸横浜病院は今後とも地域に根差した病診・病病連携体制を一層充実させ、地域の皆さま方が安心して医療を受けられますように、いわゆる地域包括ケアシステムの一翼を担えるよう努力してまいります。将来にわたりまして、さらに良質な医療サービスが提供できるような病院作りを職員一同目指してまいりますので、今年度もなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。



耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉科スタッフ写真（左から）

新村 大地医師・部長 松井 和夫医師・院長 林 泰広医師・医長 鳥居 直子医師

耳鼻咽喉科の紹介と耳科手術について

概要と特徴

聖隸横浜病院の耳鼻咽喉科は、当院の開院に遅れる
こと半年の 2003 年 9 月に診療を開始いたしました。
2004 年の 1 月に部長の松井が勤務を開始してから
は特に耳の手術患者さんの紹介が増加し、現在、耳
ばかりでなく、鼻、咽頭、喉頭、頸部の病気につい
て幅広く診察しております。当科では、耳疾患のう
ち、鼓膜穿孔、耳漏、難聴、耳閉感などを伴う中耳
疾患の治療を得意としており、手術治療により耳症
状の改善を期待できる患者様が多く占められています。
特に、鼓室形成術の手術件数は非常に多く、
2015 年は 184 例施行しており、当科の最も得意と
する領域です。



疾患紹介

鼓室形成術とは、中耳の病変を除去して、音を伝える耳小骨の連鎖を再建する外科手術のことです。中耳手術の根幹となる術式です。鼓室形成術に加えて、乳突削開術といって耳の後ろにある乳突蜂巣という空洞を切り開く手術を併用することもあります。

手術が適応となる具体的な中耳疾患は下記のものがあり、当院で治療を行っています。



急性中耳炎や鼓膜外傷などにより鼓膜に穴があき、難聴・耳漏を生じます。鼓室形成術を行いますが、現在当院での手術成績は、鼓膜の再穿孔はほとんどなく、聴力改善の成績も約 90% で良好な成績が得られていると考えています。



鼓膜の一部が陥凹して、徐々に周囲の骨組織を融解して、難聴、悪臭のある耳漏を生じ、放置するとめまい・顔面神経麻痺・髄膜炎を起こす可能性があります。世界中で様々な手術法が提唱されておりますが、標準的治療と位置づけられる手術法は定まっておりません。鼓室形成術・乳突削開術を行っていますが、真珠腫性中耳炎は再発が多い疾患であることから、遺残性の再発が疑われる場合には、1回目の手術から半年から1年後にもう1回点検を行う段階手術を採用しています。また、当院では患者さんの耳介の軟骨を利用して行う独自の手術法を行っており、再形成再発を防ぐために工夫しています。真珠腫は音を伝える耳小骨が溶けていたり、動きを悪くしていたりすることがあり、聴力改善という面では、慢性中耳炎の手術に及ばないのが現状ですが、当院の聴力改善の成績は約 80% で、他施設と遜色ない成績です。さらに良い成績となるように日々工夫しております。



鼓膜は正常ですが、徐々に難聴が悪化する疾患です。音を伝える耳小骨（特にアブミ骨）の動きが悪くなることが原因です。動きが悪くなったアブミ骨のかわりにワイヤーピストンをいれ音を伝える構造を作り直す、アブミ骨手術の適応となります。



生後より難聴があり、外耳にも小奇形を合併している場合があります。鼓室形成術で音を伝えるルートの再建をします。



以前に耳の手術を行った既往があり、真珠腫性中耳炎が再発するなどして、現在も難聴・耳漏に悩まされている方などです。

これら疾患には問診、顕微鏡下での鼓膜の診察、精密な聴力検査、CT 検査などを行って診断を行っています。治療は全身麻酔下に平均 12 日間の入院で、鼓室形成術や乳突削開術あるいはアブミ骨手術などの手術療法を行っています。



鼓室形成術の術中写真

その他アピールポイント

上記に記載の疾患と診断されている方、難聴・耳閉感・耳漏でお困りの方は、ぜひご受診ください。

潜入!

体験リポート 健康診断

健康診断の紹介

当院は、国民健康保険特定健康診査・横浜市健康診査・社会保険特定健診・横浜市がん検診の実施医療機関です。

今回はその中でも受診希望の多い、国民健康保険特定健康診査・横浜市健康診査・社会保険特定健診の体験リポートです。

完全予約制で、約1時間程度の健康診断になります。受診対象者でないと健康診査を受診できかねますので、以下をご確認ください。

【特定健康診査対象者】

受診日現在、以下の全てに該当。

- ①横浜市在住で横浜市国民健康保険に加入している方
- ②40歳～74歳で横浜市より受診券と問診票（有効期限内であること）が届いている方

【横浜市健康診査】

受診日現在、横浜市在住で以下のいずれかに該当。

- ①神奈川県後期高齢者医療制度被保険者の方※
 - ②生活保護受給者のうち40歳以上の方
 - ③中国残留邦人支援給付制度適用の40歳以上の方※
- ※一部を除く

【社会保険特定健診】

受診日現在、以下の全てに該当する方。

- ①社会保険に加入している方
- ②有効期限内の受診券に「B契約」と表記があり、神奈川県を否定する表記がない

同時にがん検診もお申込み可能ですので、この機会にぜひご受診ください。

1 予約



来院：1階 健診・問い合わせ受付

電話：045-715-3035

平日：9:00～12:00/14:00～17:00

4 診察



医師と問診を行います。診察後、医師が必要と判断した場合、追加検査や保険診療を同日に行ないます。

3 身体測定



身長・体重・血圧の測定を行ないます。75歳未満の方は、腹囲の測定も行ないます。

2 当日受付



当日は、直接ドック・健診科にお越しいただきます。受付で診察券・保険証・問診票などを預かり、受付をします。

5 採血・採尿



診察後にお渡しするバインダーを2階検査受付に提出していただき、採血と採尿を行ないます。

6 会計



バインダーを1階料金計算窓口に提出していただき、お会計となります。

7 結果通知



問診と検査結果より総合判定を行い、ご自宅へ郵送通知させていただきます。

横浜市がん検診のご案内

- 横浜市が実施する横浜市在住の方のがん検診のうち、当院は以下の検診実施医療機関となっております。
- 完全予約制となっておりますのでご希望の方は、1階・健診問い合わせ受付またはお電話にてご予約下さい。
- 今年度より、胃がん検診にて内視鏡検診（胃カメラ）が始まりました。
今年度まだ胃がん検診を受診されていない50歳以上の方は、この機会にご受診をお勧め致します。
- お電話でご予約の方は、各種検診票を事前にご自宅まで郵送させていただきます。

種類	対象者	検査内容	費用
胃がん検診	40歳以上の方	透視撮影	3,140円 (70歳以上無料)
	50歳以上の方 (2年度に1回)	内視鏡検査 (経口・経鼻両方実施可)	
大腸がん検診	40歳以上の方	検便(2日分)	600円 (70歳以上無料)
P S A 検査 (前立腺がん)	50歳以上の方	血液検査	1,000円 (70歳以上無料)
乳がん検診	40歳以上 (2年度に1回)	視触診 マンモグラフィー	1,370円 (70歳以上無料)

※横浜市健康診査・国保特定健診も同日に受診可能です

※当院では、肺がん・子宮がん検診は実施しておりません

※乳がん検診は、横浜市検診の対象外の場合でも、5,000円で視触診+マンモグラフィーが受けられます

各種健診・検診と一緒に受けられるオプション検査のご案内

検査項目	費用	検査内容
アミノインデックス	22,680円	血液検査で、血液中のアミノ酸を測定しアミノ酸濃度のバランスから、現在の健康状態や病気の可能性を明らかにし、がんである可能性を評価する検査です。 男性：肺がん・胃がん・大腸がん・膵臓がん・前立腺がん 女性：肺がん・胃がん・大腸がん・膵臓がん・乳がん・子宮がん・卵巣がん
心電図	1,400円	不整脈、心筋梗塞や狭心症を調べる検査です。
胸部レントゲン	3,020円	結核や慢性肺疾患などの胸部疾患を調べる検査です。

聖隸横浜病院 ドック・健診科

予約専用電話 045-715-3035 (8:30 ~ 12:00、14:00 ~ 17:00)

2 旬の食材、レンコン！

栄養課 管理栄養士 梅本 愛

レンコンは、その名のとおり、ハス（蓮）の根っこ、地下茎です。真ん中に1つ、周囲には9か11の穴が空いていて「見通しがきく」ことから、お正月のおせち料理や祝いの膳には欠くことのできない食材となっています。旬は11月～2月で、節と節の間が長くゆがみの少ない円筒形のものを選ぶと良いとされています。レンコンはビタミンCや食物繊維が豊富で、ビタミンB1・B2も多く含まれています。さらにカリウム・カルシウム・鉄などもバランスよく含まれているのが特徴です。レンコンのビタミンCは主成分のデンプン質に守られているため、加熱しても壊れにくく、美肌作りの栄養素を美味しく摂取できます。今回は、レンコンを使った当院の病院食の一品を紹介します。ぜひお試しください。

《材料（一人分）》

レンコン60g、ムキ枝豆10g、乾燥ひじきひとつまみ、練り辛子少々、マヨネーズ大さじ1、めんつゆ少々、白すりごま少々、鰯節少々



《蓮根辛子和え》

《栄養価》

エネルギー：140kcal、鉄：1.0mg、食物繊維：2.2g、塩分：0.6g

※ひじきを戻してさっと茹でたレンコン、下茹でした枝豆を調味料と混ぜ合わせたら完成です。

ほっと情報

Information

このページは、健康や医療にまつわる最新情報、その他興味深いホットな情報を届けします。知って得するお話です。

1 冬だってかかと美人！

外来 看護師 松田 真紀

冬の乾燥肌は、気温や湿度の低下が原因で肌の潤いのもととなる「皮脂」と「汗」の分泌が減少することで起こります。特に足のかかとには皮脂腺が無いため油分が少なく、乾燥することでガサガサやひび割れを引き起こしやすくなり、時には痛みで歩くこともできなくなるほどです。

糖尿病の方は細菌や真菌（水虫菌など）に感染しやすく、かかとに傷を作ってしまうことで重篤な感染症を起こしてしまう場合があるため、注意が必要です。

ケアで重要なのは、『ワセリンやクリームで保湿し油分を補うこと』です。しっかりと塗りこんだ後、ラップを使ったパックや蒸しタオルで温めると更に保湿力が高まります。また入浴後は皮膚が乾燥しやすいので、潤ったかかとの水分を逃さずに素早く保湿することがポイントです。靴下を着用することも効果的です。

つるつるかかと美人を目指して、冬を楽しみましょう！



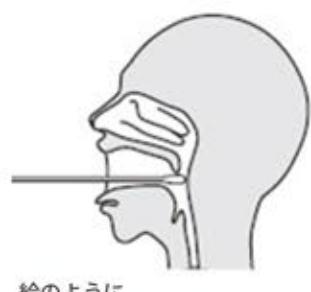
3 この冬は、マイコプラズマ肺炎に要注意！

検査課 臨床検査技師 斎藤 彩乃

マイコプラズマ肺炎とは「Mycoplasma pneumoniae（肺炎マイコプラズマ）」という病原体が原因となって起こり、近年、子どもだけでなく大人にも多く見られます。

初めは風邪のような発熱、倦怠感、頭痛などの症状があり、予防法は風邪と同じでマスクの着用・手洗いやうがいです。しかし、風邪との特徴的な違いは「解熱後も3～4週間咳が続くこと」「風邪薬が効きづらいこと」です。放っておくと重症化しやすいため、このような症状がある場合は医療機関を受診し

てみてはいかがでしょうか。このマイコプラズマ肺炎の検査は咽頭（のどの奥）を綿棒で拭ったものを使用し、採血のように針を刺さずに検査することができます。院内で検査を行っており、約30分で結果がわかります。



絵のように綿棒でのどの奥を拭って検査を行います

5 もう迷わない！ 脳ナビで位置情報をキャッチ！！

臨床工学室 臨床工学技士 森田 斗南



皆さん、知らない場所を歩いている時に不安になったことはありませんか？

最近、手術室で新しく購入した『脳神経ナビゲーションシステム』についてご紹介いたします。脳は複雑な形をしており、いたるところに重要な機能や構造物がちりばめられています。少しでも違う場所を傷つけてしまうだけで、神経障害などの脳障害を引き起こしてしまう可能性があります。そこで、脳の中を正確に手術するためにナビゲーションシステムが登場しました。車のカーナビに似ていて、手術している部位を立体的に、なおかつリアルタイムで表示してくれるため、手術をするときにどこを切開してどの方向に進めていけばいいのか明確になり、病変部までの道のりを案内してくれる優れた機器です。

私たち臨床工学技士は、このような高度な機器だけでなく、血圧計などといった皆さんに身近な機器にいたるまで、院内のさまざまな医療機器を管理しています。医療機器のことで困ったら、私たち臨床工学技士にお任せください。

7 姿勢と肩こり

リハビリテーション室 作業療法士 今泉 由希

日常生活の姿勢をチェックしてみましょう。

- 寝転がって本を読む
- パソコン作業をする
- 長時間バイクや車を運転する
- 足を組んで座る
- バックや買い物の荷物をいつも同じ側で持つ

上記に共通する姿勢は、頭が肩より前方で、猫背で、体が左右どちらかに傾いていることです。人間は、首から肩甲骨周囲の筋肉で頭を支えていますが、頭の重さは、体重の8%～13%で、50kgの方で4～6.5kg！ 同じ姿勢を続けると、首や肩の筋肉に負担がかかります。負担がかかりすぎると、筋肉内の血液循環が悪くなり、老廃物が蓄積し、痛みが出現し、その痛みが続くとさらに筋肉が縮み、硬くなるという悪循環になります。

*注意*肩こりの原因は様々です。首から肩の痛み以外に、頭痛や吐き気、めまい、手指のしびれなどの症状がある場合は、早めに医師に相談することをお勧めします。



4 薬の名前に付いている アルファベットの意味とは？

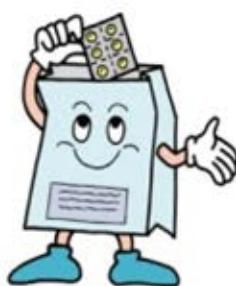
薬剤課 薬剤師 坂本 光咲

例えば、「アダラートCR錠」「セロケンL錠」「ユニフィルLA錠」「デパケンR錠」「タケプロンOD錠」「ガスターD錠」など、薬の名前に付いているアルファベットは、薬の特徴を意味しています。

CR(コントロールリリース)は、薬の成分の放出をコントロールする、L(ロング)、LA(ロングアクション)は効果が長く続く、R(リタード)は効果の発現を遅らせるといった徐放剤を意味します。そのため、口の中でかみ砕いてしまうと、本来得られるはずの持続性は期待できなくなってしまいます。

一方、OD(オーラルディスインテグレーション)、D(ディスインテグレーション)は口の中で崩壊するという意味を持ちます。そのため、飲み込みづらい際にはかみ砕いて服用することができます。

このように、薬の名前に付いているアルファベットには薬の特性が隠されているのです。

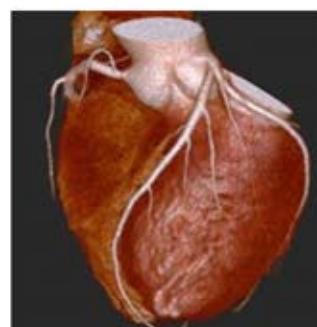


6 心臓（冠動脈）CT検査って どんな検査？

放射線課 診療放射線技師 佐藤 広英

心臓（冠動脈）CT検査とは、今まで心臓カテーテル検査でしか分からなかった心臓の血管（冠動脈）の走行、狭窄を調べることができる検査です。冠動脈が狭くなり心臓に十分な酸素、栄養が送れなくなることによって起こる狭心症、心筋梗塞などを早期に発見することができます。

冠動脈に直接造影剤を注入する心臓カテーテル検査と比べ、造影剤を腕から注射することで冠動脈の評価が可能なため体への負担も少ない検査です。約10秒程度の息止めで撮影が可能です。事前の説明（問診）を含めて30～40分程度で検査ができ、入院をする必要がなく外来（日帰り）で検査が可能です。心臓の状態が心配の方は、この際に心臓CT検査を考えてみてはいかがでしょうか？



心臓CTを撮影し、画像処理を行うと、このような画像が作られます。

せいれい インフォメーション

Information

① 窓口負担軽減制度について

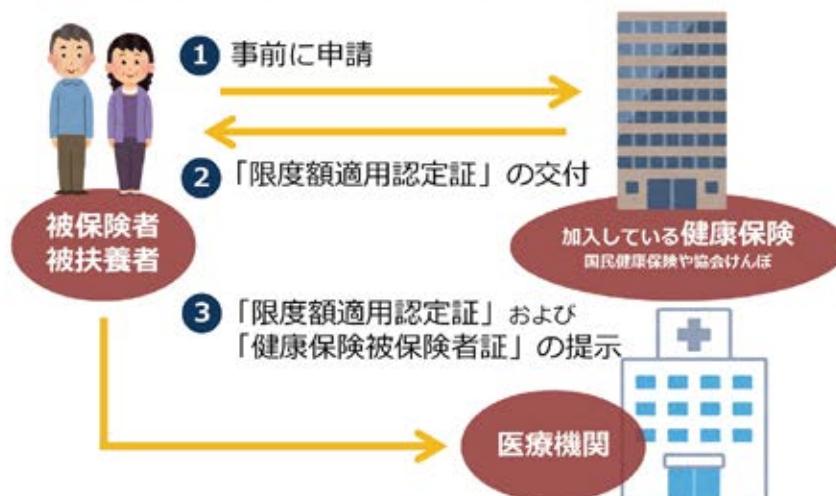
医療情報管理課 事務職 高瀬 純子

70歳未満の方が1ヶ月の医療費の自己負担が高額になったとき、自己負担限度額を超えた分を高額療養費として、後日加入している健康保険から払い戻しされます。ですが、医療費が高額になることが事前に分かっている場合には、健康保険の窓口に申請し、「限度額適用認定証」を病院に提示することで、限度額を超えた場合に病院窓口での負担が少なくなります。限度額を超えた分は病院から健康保険へ直接請求するため、病院窓口での立替払いの必要が無くなるということです（注：入院中の食事代や差額ベッド料、病衣などの保険診療外の自費分については対象とはなりません）。



70歳以上の方は、現役並み所得および一般所得で、自己負担限度額が決まっているため申請は不要です。
ただし、住民税非課税世帯の方は「限度額適用・標準負担額減額認定証」の提示が必要です。

限度額適用認定証申請の流れ



② 医療費控除について

地域連携・相談支援センター 医療相談員 小島 弘恵

医療費控除とは、1年間に多額の医療費がかかった場合に税金の減免を受けられるもので、確定申告が必要な制度です。

その年の1月1日から12月31日までの間、患者さま又はそのご家族が10万円以上の医療費を支払った場合、納めた税金の一部が還付されます。

申告を忘っても、5年前までさかのぼって医療費控除を受けることができます。

医療費控除の金額は以下の計算式で、最高200万円となります。

(実際に支払った医療費の合計額 - 保険金などで補填される金額) - 差引額 10万円



※ただし、年間所得200万円未満の方は、総所得の5%を差引額10万円の代わりに差し引く計算となります。

申告に必要な医療機関の領収書、通院の際にかかった交通費の領収書などは大切に保管しておきましょう。

詳細については担当の税務署にご相談ください。

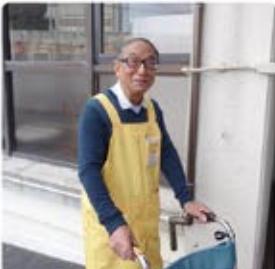
特集

病院ボランティアさんをご紹介します！

聖隸横浜病院では、現在 15 名のボランティアの方々が、得意分野を活かし活躍されています。皆さんの素晴らしい活動をご紹介します。



黄色のエプロンが
目印です！



総合案内（5名）

平日 9:00～11:00

正面玄関付近で、優しく親切に患者さんを
ご案内してくださいます。

傾聴（3名）

木曜 13:30～14:00

2016年12月から活動を開始。
主に入院患者さんのお話に優しく
耳を傾けてくださいます。



縫製（2名）

火曜 14:00～16:00

入院患者さんが使用する備品のカバーの
縫製や季節を感じる心温まる作品づくりで、
患者さんや職員を和ませ、
癒してくださいます。



図書整理（1名）

主に火曜・水曜 9:00～11:00

患者さんが快適に読書が出来るよう、
外来2階エリアの図書コーナーおよび
病棟ラウンジにある図書の整理整頓を
行ってくださいます。



園芸（3名）

毎日／水曜 9:00～11:00

可憐で彩りにあふれた種々のお花を育てたり、雑草
を取り除いたりして、病院敷地内を美しく整備して
くださいます。



秋は院内保育所の園児たちと
サツマイモ掘り！



車椅子メンテナンス（1名）

金曜 9:00～11:00

患者さんや付き添いの方、職員が安心して
車椅子を使用出来るように、病院内すべて
の車椅子を点検・整備してくださいます。

建築NEWS!

立体駐車場工事の進捗報告

2016年5月から開始をしている立体駐車場工事は、9月よりタワークレーンという高層ビルや大型建造物の建設に使用される工事用クレーンを設置し、現在、立体駐車場の基礎部の工事を進めています。この基礎工事を終えると、鉄骨の組立工事へと進み立体駐車場の骨格が姿を現します。立体駐車場は、2017年4月に完成予定です。駐車場収容台数は、現在の74台から108台となり、外来棟完成時には129台となるため渋滞緩和に貢献できると期待しています。



タワークレーンを使用して、より効率的により安全に日々、建築工事に努めています。
(2016年10月撮影 写真左)

基礎工事が進み、鉄骨の組立工事の準備をしています。(2016年11月撮影 写真右)

立体駐車場・新外来棟 完成予想図

健診ブースが新しくなります

当院の立体駐車場建築工事と並行して、ドック・健診科の健診ブースの増築計画をしてあります。現在、検査の際には、その都度各階へ移動してから実施していただいているが、健診ブースが新しくなることで、主要な検査部門を1つのフロアに集約し、効率的な動線となるため、当院を受診される方にとって利用しやすい環境となります。

新健診ブース 検査実施項目
・採血
・聴力検査
・視力検査
・眼底検査
・心電図検査
※上記以外の検査につきましては 別フロアにて実施いたします

トック・健診科
健診ブース
2017年2月末
完成予定!!



工事期間につきましては、当院を利用されている方々ならびに近隣住民の皆さまにはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人 聖隸福祉事業団
聖隸横浜病院
SEIREI YOKOHAMA HOSPITAL

広報誌「聖隸よこはま」通巻第115号 2017年1月1日発行
発行責任者 / 院長 林 泰広
〒240-8521 横浜市保土ヶ谷区岩井町215
TEL.045-715-3111 FAX.045-715-3387
<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>

